

うだぢから

「うだぢから」とは、宇陀に由来からある
地域コミュニティの力(宇陀力)のことです。
このコーナーでは、市が取り組む
「まちづくり」や NPO 団体などを紹介します。
問 市民協働課 ☎82・2130/IP ☎88・9085

1 防災視察研修

～本郷まち協～

2月23日(日)、名古屋市港防災センターへ視察研修を行いました。このセンターは、伊勢湾台風の影響の経験を有する名古屋市の災害時の応急対策の拠点と防災教育・啓発を目的とした施設になります。研修では、地震体験室で実際に起こった大地震の揺れを再現、震度7の大きな揺れを体験し、それに対処する適切な初期行動を学びました。展示室では、伊勢湾台風接近の様子や、被害の状況の映像を視聴、3Dシアターで、



▲伊勢湾台風の視聴

高潮の様子をシミュレーション映像と音響・照明の演出で実際に近い体験をしました。いざという時に備えて、災害の実態を正しく知り、地震や台風などの自然の巨大な力に対して、私たちの生活がいかに壊れやすいものであるか、身をもって体験することができました。改めて、日頃の備えが何よりも大切なことを学ぶ機会となりました。



▲地震体験

2 井足岳の船尾ルートに登山看板を設置

～大王地区まち協～

2月下旬に当まち協の井足岳登山道開発部会で井足岳から船尾までの、登山道整備を行いました。この整備事業は、伊那佐山から尾根伝いに井足岳山頂を経由し、榛原駅まで行くルートで、まち協が登山道の整備をして市内の自然を楽しんでいただくが安全に登山を楽しんでもらうことを目的に令和元年にスタートしました。



▲看板の設置

今回は、検牧船尾ルート(井足岳から船尾まで約40分)に、看板の設置を完了しました。全コースの中で危険と思われる箇所には、利用者のサポート用にロープも併せて設置しました。



▲作業に参加した登山道開発部会の皆さん

また、登山道の行き先を示す木の看板は、隣の伊那佐地区まち協とも連動した統一デザインになっています。今後、「井足岳・伊那佐山の登山マップ」も作成予定です。トレッキングルートの全体イメージや区間ごとの必要時間の表記を検討しています。

今回の登山道の整備に当たり、隣接する各まち協および地権者の方にも協力をいただいています。利用される方は、「火気厳禁」「ごみのポイ捨て禁止」などマナーを守って、楽しんでいただきたいと思います。

3 みんなで楽しく

～室生地区まち協～

2月22日(土)、室生地区にある「室生地域文化伝習展示施設」あさぎりホールにて「軽スポーツ大会」を行いました。



▲ポッチャ

この大会は、スポーツを通じて互いにコミュニケーションを図りながら、

住民同士の関わりを促進し、個人の身体機能の維持・向上、地域の活性化に向けて、当まち協の体育委員会が中心となり毎年実施されています。今回は、東京2020パラリンピックにて日本代表が金メダルを獲得し、今も注目されている「ポッチャ」、ボウリングのような感覚で木製のピンを倒し得点を競い合うフィンランドの頭脳スポーツ「モルック」、パターゴルフのようで実は五目並べの「囲碁ボール」など手軽に幅広い年代が楽しめる3種目を行いました。ルールも難しくなく、会場には歓声が響き、熱気に包まれていました。



▲参加者の皆さん

けたコミュニケーションなどの機会が減少しています。人と人とのつながりを大切にし、地域住民がいままで元気で過ごせる地域づくりを目指します。

各まち協の桜まつりをお知らせします。皆様のご来場をお待ちしています。

- 【日時】 4月6日(日) 午前10時～午後2時30分
- 【場所】 榛原ふれあい広場
- 【主催】 東榛原まち協
- 【日時】 4月12日(土) 午前11時～午後2時
- 【場所】 旧守道小学校運動場
- 【主催】 大宇陀政始まち協



ウコギ

ウコギには北の方に自生するエゾウコギ、山に自生するウコギ、暖かい地方ではヤマウコギ(オニウコギ)などがあり、根の皮は五加皮ごかひと呼ばれ、滋養強壮、強精、鎮痛剤に利用されます。特に腰痛や腰、脚に麻痺などがある人には欠かせない植物です。エゾウコギやウコギの新芽が伸びる四、五、六月に、新芽や若葉を採集して、生のまま汁の実としたり、衣を付けててんぷ

らにしたりするほか、そのまま茹でて水にさらし、あえ物、お浸し、煮付け、汁の実とします。また、若葉を、塩とだし汁で味付けしたご飯の炊きあがりに交ぜると、ウコギ飯となりおいしくいただけます。ただし、生のままの葉を多量に入れると香りがきつくなりすぎますので、葉の量が多いときには、茹でた葉(少し塩を入れてゆでると色がよい)を交ぜるのがコツです。



薬草道通(やくそうししょうよう) 毎回「薬草」に関する内容を連載でお届けするコラムです。

※当市で「薬草活用講演会」をしていた村上光太郎先生の連載より一部抜粋

問 商工業課 ☎82・5874 / IP ☎88・9075